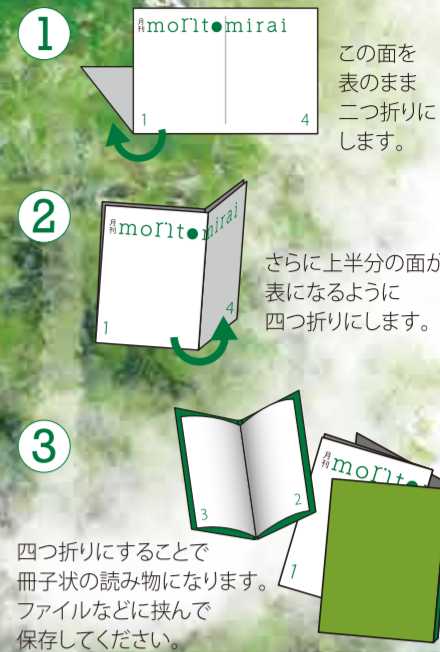


月刊 moritmirai 09 2023.03

森と未来

この紙面の読み方



月刊moritmirai 次号は4月29日(土)予定

本紙面は山梨の森林サイト「moritmirai」でもご覧いただけます 企画制作：山梨日日新聞社広告局



moritmirai.com

illustration：オエムシ

荒れる竹林 地域悩まず

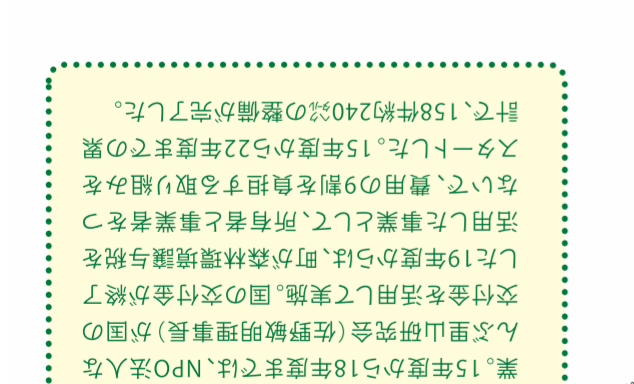
タケノコからわずか1年ほどで成竹になり、高さが10m以上に達することもある竹。所有者の高齢化などで伐採など管理の手が追いつかず、倒竹被害や、畑の竹林化などを招き、地域住民を悩ませている。荒廃竹林の問題点と対策、解決に向けた地域住民の取り組みなどを紹介する。

1

国道52号に面した南部町内の竹林。町産業振興課の担当者の案内で急な斜面を登って行く、伐採された竹が数カ所に整然とまとめられていた。間伐を終えた竹林は、竹と竹の間に柔らかな日差しが差し込み、手入れが行き届いているのを感じ

2

JR東海線沿線では危険な竹の除去作業をする



「今回」若者「使え」は財産

南部町の竹林整備代行事業。15年度から18年度までは、NPO法人はぐり山研が実施。国の交付金が終了した19年度からは、町が森林環境税を活用した事業として、所有者と事業者が共同で費用を9割負担する取り組みがスタートした。15年度から22年度までの累計で、158件約40%の整備が完了した。

南部町の竹林整備代行事業。15年度から18年度までは、NPO法人はぐり山研が実施。国の交付金が終了した19年度からは、町が森林環境税を活用した事業として、所有者と事業者が共同で費用を9割負担する取り組みがスタートした。15年度から22年度までの累計で、158件約40%の整備が完了した。



加工場内の乾燥機。乾燥した竹は、主に薪や炭として活用される。

「たけのこ産地」は、山梨県南都賀郡内牧原町にある。同町は、平成10年から「たけのこ産地」を推進している。現在は、産地内の竹林が荒廃していることが大きな課題となっている。...



整備前の竹林。道路へ竹が倒れかかると危険もあつた（南部町提供）



整備された竹林。2年ほど前までは足を踏み入れる隙間もないほど竹が密集していた